

KagoGIGA^⑧ インフォメーション

鹿児島県教育庁高校教育課
学校教育ICT推進班
令和4年11月号

今回の話題 かごしま「教育の情報化」フォーラム 開催!!

10月26日(水)かごしま県民交流センターで、「みんなで一歩ずつ、『オール鹿児島』で進めよう『かごしまの教育DX』」をサブタイトルに、「かごしま『教育の情報化』フォーラム」を開催しました。

今回は、令和元年度以来、3年ぶりとなる対面開催で、新型コロナウイルス感染症への対応等のため、一部オンラインによる配信も行い、延べ443人に参加(うちオンライン参加135人、県外からの参加66人)していただきました。

MEXCBT 教育データの利活用
個別最適な学び 教育DX
みんなで一歩ずつ「オール鹿児島」で進めよう「鹿児島県の教育DX」
協働的な学び 持ち帰り
かごしま「教育の情報化」フォーラム 遠隔学習

【内容】
教育の情報化に関する講演
学校等の取組紹介
学校教育ICT機器の企業展示 など

【対象】
教職員、学校関係者
教員を目指す大学生
教育の情報化に興味のある一般の方
関連企業の方

10/26(水)かごしま県民交流センター県民ホール 他
<http://www.kagoshima-pac.jp/access/>
午前10時開会 参加費無料

主催/鹿児島県教育委員会 後援/一般社団法人 ICT CONNECT 21
共催/鹿児島市教育委員会 協力/鹿児島県PTA連合会、鹿児島県マルチメディア教育研究会



企業ブース・プレゼン開催!!



実践事例等の紹介



パネル・ディスカッション



Google for Education 日本統括の小出泰久氏の講演をはじめ、本県及び全国の先進的な取組や実践の紹介、県の「情報モラル教育」の取組紹介、そして、「教育データの利活用」をテーマに、文部科学省 総合教育政策局 教育DX推進室 室長補佐の野口宏志氏や本県の「教育の情報化」に係る第一人者の方々をパネラーにお招きしてのパネル・ディスカッションと、盛り沢山のメニューで開催しました。

県民ホールのホワイエでは、教育ICTコンテンツ等を提供されている企業の展示ブースを設置し、また、県民ホールでは今年初めて企業によるプレゼンテーションの時間も設け、大盛況のフォーラムとなりました。

参加していただいた方々は、教育の情報化の未来や先進的に取り組んでいただいている教職員の熱意、最新の教育ICTコンテンツ等に直に触れていただくことができたのではないかと考えています。

これからも、本県の子供たちのこれからの時代を生き抜くために求められている情報活用能力を育てていくことができますよう、皆さんで取り組んでまいりましょう。

裏面に、事後アンケートでいただいた感想等をいくらかまとめました。御覧ください。

—参加者の内訳—

校種等	小学校	中学校	義務教育 学校	高等学校	特別支援 学校	行政	私立学校	大学生	教育 関係者	一般	保護者	企業等	合計
総参加者数	110	49	4	39	25	86	8	1	10	7	2	102	443
[うちオンライン]	[63]	[19]	[3]	[11]	[5]	[30]	[1]	[0]	[3]	[0]	[0]	[0]	[135]
県外参加者数	0	1	0	0	0	4	2	0	1	0	0	58	66

—事後アンケートでいただいた感想等—

講演

※ スペース等の関係上、いただいた文章を抜粋、編集しております。

- ・ これからの時代を意識した児童生徒の育成をしないといけないなと強く感じた。(30代・教職員)
- ・ 学校という立場だけではなく、学校現場の外部からの教育DXについての思いを聞くことができた。デジタル機器を活用して、世界で活躍する子供たちを育成するために自分たちができることは何か、考える良い機会となりました。(40代・教職員)



実践事例発表の配布資料は、
Microsoft Teams
「KagoGIGA 情報交流室」
からダウンロードできます!!

実践事例発表等

- ・ 来年度以降はC B Tを活用した問題等も増えてくると予想されるので、利用しないといけない。児童生徒の個別最適化を目指し、最適な学びを提供できるように取り組んでいきたいと感じた。(30代・教職員)
- ・ 高等学校の事例紹介では、実用的な実践例が紹介されており、大変勉強になりました。(40代・教職員)
- ・ 教育委員会の実践紹介から、情報担当者会が設けられ定期的な研修や情報交換、意見交換などがICTを推進する上では大切なことだと感じた。(50代・行政・県内)
- ・ 行政の取組実践事例は、聞く機会がなかったのでとても勉強になりました。情報発信の場が少しでも多くなれば、教育の情報化が更に加速するだろうと感じました。(30代・一般県民)

企業ブース・プレゼンテーション

- ・ 機器やアプリの使い方を丁寧に教えてもらえてよかった。(30代・教職員)
- ・ 単独ではなかなか導入できるものでもないの、群馬モデルのように、県単位で導入して活用できるのがあれば良いと感じました。(40代・教職員)
- ・ いろんな企業が様々な機器を作っていることがわかりました。(40代・教職員)



パネル・ディスカッション

- ・ 国の最新の動向や考え方、先進的な自治体や学校の取組を、具体的に、さらに将来まで見据えて研修できました。学校でできることを一つずつでも取り組んでいきたいと思いました。(40代・教職員)
- ・ データ駆動型教育の必要性について確認することができました。少しずつでも、学校で実践していければと思います。(50代・教職員)
- ・ 教育データのマトリックスを生かした活用は、とても難しいと思っています。数年以内に文科省からマニュアル的なものが出るということで少し安心しました。現在あるデータをどう活用して学力向上に繋げていけるかをまず考えてみたいです。(50代・教職員)

オンラインに対応したことなども含め、概ね多くの参加者に満足していただける充実したフォーラムになったと感じています。改善に向けての御意見もいただいているので、次年度に向けて検討していきたいと思っております。

今回、実践発表やパネル・ディスカッション等で御登壇いただいた方々、企業ブース等に出展いただいた企業の皆様、フォーラムに参加していただいた方々、皆様の御協力あってのことと思っております。

次年度のフォーラムも充実したものにしたいと思っておりますので、是非、多くの方々に御参加いただきますようお願いいたします。